

3. 令和元年度 事業実績
(1) 全体

取組内容	全体	ワーキンググループ								
		①教育の質向上に向けた各大学等の資源の共有化ならびに集中に関する事	②類似または異なる専門分野の連携による新たな価値創造に関する事	③「学都金沢」ブランドを発信し、石川県内への進学促進に関する事	④企業・地域住民の主体的な学びを可能とする、多様な学習機会の創出に小中校・一般・企業向け学習支援WG	⑤地元企業の人材確保に関する事	⑥リスクマネジメントに関する事	⑦共同FD/SDに関する事	⑧共同IRに関する事	
WG	—	共同PBL運営検討WG	単位互換検討WG	専門連携・産学連携研究促進WG	入学促進WG	北陸大	地元就職促進WG	リスクマネジメント検討WG	共同FD/SD事業WG	共同IR事業WG
取りまとめ校	幹事校（金沢工業大学）	★金城大・短大	★金沢工大	★星稜大・短大	★北陸学院大・短大	★北陸大	★金沢学院大・短大	★金沢医科大	★幹事校（金沢工大）	★幹事校（金沢工大）
担当	意思決定委員会・運営委員会 ・企画調整委員会	金沢工大、国際高専	金城大・短大、国際高専	金沢学院大・短大	北陸大、金沢医科大	北陸学院大・短大、金沢医科大	星稜大・短大	金沢工大	全大学等	全大学等
4月	・第7回事務局会議[第1回 運営委員会] (大学等・自治体・産業界 代表者)									
5月										
6月										・学事運営スケジュール調査 ・学部卒業生数・就職内定数等の調査
7月	・第8回事務局会議[企画調整委員会] (大学等 担当者)									
8月										
9月	上 ・第9回事務局会議[企画調整委員会] (大学等 担当者)									・第1回FD研修 (@北陸大) ・第2回SD研修 (@金沢工大)
	中									
	下 ・第1回意思決定会議 (大学等・自治体・産業界 代表者) ・12大学等 私大等PF連携協定締結 ・私大等PFホームページ開設	・担当校間の打合せ(目的・課題の 確認)								
10月	上		・担当校間の打合せ(目的・課題の 確認)			・(コンソ)石川県高大連携セミナー 事業				
	中	・第10回企画調整委員会(大学担当者)								
	下	・令和元年度私立大学改革総合支援事業 (タイプ3) 申請								
11月	上									
	中									
	下	・第11回企画調整委員会(大学等 担当者) ・石川中央都市圏大学連携推進連絡会 参 加						・第1回就職支援プログラム ・第2回就職支援プログラム	・自治体との協議	・第3回FD研修 (@金沢工大)
12月	上			・担当校間の打合せ			・担当校間の打ち合わせ	・担当校間の打ち合わせ		・第4回FD研修 (@金沢医科大)
	中						・第1回 リカレント教育プログラム			
	下	・第2回運営委員会 (大学等・自治体・産業界 担当者)	・提供科目の抽出			・IRデータ分析			・自治体との協議	
1月	上									
	中						・第2回 リカレント教育プログラム	・第3回就職支援プログラム		・除籍・退学者数、共同研究、入 試結果、科目等履修生、公開講 座等の調査
	下	・PBL授業実態調査アンケート ・アンケート集計、分析		・研究、産学連携実態調査アン ケート		・公開講座等の実態調査アン ケート	・第4回就職支援プログラム	・担当校間の打合せ		
2月	上								・防災に関する実態調査アンケート	
	中								・アンケート分析(危機的事象の分 類表の作成)	・IRデータ集のまとめ
	下	・第2回意思決定委員会 (大学等・自治体・産業界 代表者)	・自治体、産業界への協力依頼 (予定)	・アンケート集計、分析(予定) ・担当校間の打合せ(予定)		・第3回 リカレント教育プログラム (予定)		・自治体との協議		
3月	上		・単位互換手続きの確認(予定)				・アンケート集計、分析(予定) ・第4回 リカレント教育プログラム (予定)	・第5回就職支援プログラム (予定)		
	中								新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛	
	下	・令和元年度 私大等PFシンポジウム(予定) ・第12回企画調整委員会(予定) ・第3回運営委員会(予定)				・第5回 リカレント教育プログラム (予定)				
活動評価 (自己点検)		C	B	C	B	C	C	A	A	A

【S】当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 【A】当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 【B】当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。 【C】当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
【D】当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。